

みんなの声を活かす意見公募手続の結果公表

様式 3

案件名「御殿場市立図書館等整備基本構想報告書」（案）

「御殿場市立図書館等整備基本構想報告書」（案）に対し、ご意見をいただきありがとうございました。出された意見の内容（概要）及び意見に対する市の考え方は以下のとおりです。

みんなの声を活かす意見公募手続の結果

1	意見提出者数	4	人
2	提出された意見の数	9	件
3	意見の反映状況		
	① 反映した意見		件
	② 既に盛り込み済みの意見	3	件
	③ 今後参考とする意見	4	件
	④ 反映できない意見	2	件
	⑤ その他（質問等）		件
4	意見の反映状況一覧		
No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
1	移転には反対。図書館は幅広い年代の人たちが気軽に利用できることが大切であり、人口の多い市街地もしくは現在地に立地すべきではないか。	第5章「(1)図書館の移転について」のとおり、敷地が手狭であることや閉館が長期に渡ること等から移転が必要となった。整備予定地は多くの方の意見や他の施設との連携を考えこの場所となった。今後は、この場所で幅広い方々に利用いただけるよう交通網の整備等を考えていきたい。 また、令和3年4月には御殿場駅近隣に「富士山市民のサロン」が開館する予定なので、併せてご活用いただきたい。	④
2	運転免許証返納者や徒歩、自転車で図書館へ通う市民も多く、高齢化が加速する将来において弱者の切り捨てにならないようお願いしたい。	高齢者等の交通弱者に対しては、公共交通機関を充実させ、負担感を軽減していきたい。 また、この新図書館の整備が公共交通機関の活性化へとつながるものと期待している。	③

3	新図書館完成後は、現在の図書館又は用地を有効利用し御殿場市の中心市街の多くの市民のため活用計画も基本構想に加えて欲しい。	本構想は新図書館等整備のためのものであり、現図書館の跡地利用については別途検討していく。	④
4	電子図書館サービスは、非来館者サービスの充実と省力化・省スペース化等のメリットがある。	ご指摘のとおりであるが、電子図書館サービスについては事例も少なく、多額の費用が掛かることから今後も検討していく。	③
5	ICT技術の導入検討について、自動貸出・返却システムはきちんと整備すべきではないか。	第3章「(5) ICT技術の導入検討」で費用対効果を精査した上で整備に向けて検討している。また、第4章(3)「5 利用しやすいサービスの追求」でも検討している。	②
6	ICタグと入退館ゲートの普及が資料の無断持ち出しの抑止力となった一方で、館内の目立たない場所に資料を隠して利用する事例が確認されている。この資料隠しの抑止策も必要ではないか。	本件については、基本構想の中では無く、実際の運営の中で今後検討していきたい。	③
7	図書館と郷土資料館の複合化で相乗効果が生まれるという概算を示した方が市民の納得が得られるのではないか。	第4章「(2)新図書館等の基本的な方向性」の内容で一定の理解が得られるものと考えている。	②
8	市立図書館では、特に児童・青少年に対するの読書推進が必要。そのために、児童室には専門の司書を配置すべき。	本件については、基本構想の中では無く、実際の運営の中で今後検討していきたい。	③
9	小学生の足で通える場所にせめて分館でもいいので設置してほしい。	第4章(3)「3 学校や関係機関との連携」で地域文庫づくりや、学校・地域等との連携について検討している。	②
5	意思決定後の策定案の内容	変更なし	
6	意見の公表先	御殿場市ホームページに掲載 御殿場市立図書館に掲示(12月27日(日)まで)	

担当課	御殿場市立図書館 TEL : 0550-82-0391 メールアドレス : toshokan@city.gotemba.shizuoka.jp
-----	---